

# 「あのみり」を使った夏秋ナスの 省力・軽労化栽培技術の確立 (農林センター)

ナス新品種「あのみり」を平面仕立てで栽培することにより、慣行栽培より省力・軽労化が可能。

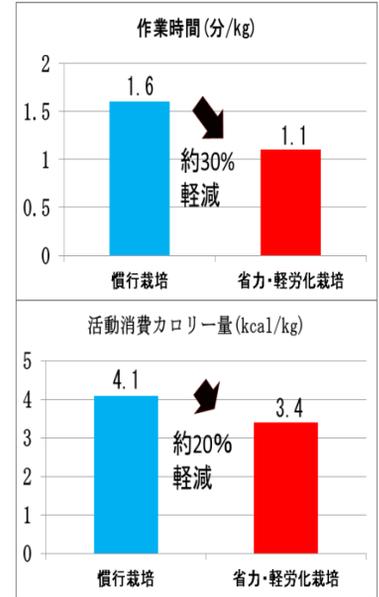
## 慣行栽培(V字仕立て) 省力・軽労化栽培(平面仕立て)

中腰、前傾姿勢での  
収穫・整枝せん定作業が辛い

頭上がふさがらず立ち作業で  
姿勢が楽



品 種	千両二号	あのみり ((独)農研機構育成)
仕 立 て	V字仕立て	平面仕立て
整枝・せん定	栽培全期間	7~8月のみ



・「千両二号」慣行栽培と「あのみり」省力・軽労化栽培の収量はほぼ同等  
(2年平均 あのみり12.3t、千両二号11.6t)

### 「あのみり」の特性

- ・側枝の伸長がゆるやかで、整枝・せん定作業が大幅に省略可能
- ・千両二号より光沢があり、食味はほぼ同等
- ・単為結果性で収穫初期の奇形果が出にくい

### あのみり

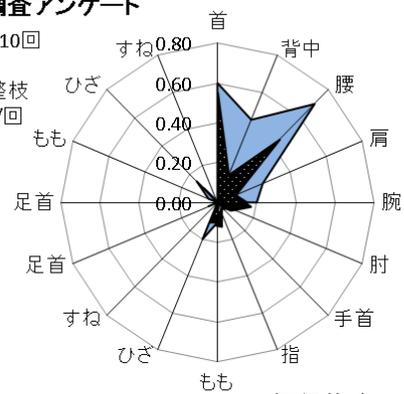


省力・軽労化栽培で  
疲労感が少ない

### 労働強度調査アンケート

調査時期: 8,9月に10回  
調査人数: 10名  
作業内容: 収穫、整枝  
作業時間: 約30分/回

(修正 borg Scale)  
疲労程度  
0: (全く感じない)  
~  
3: (中程度の痛み)



労働強度が小さくなり、作業時間は約30%、活動消費カロリー量は約20%軽減、収量は同等

- ・ 高齢の担い手でも栽培を続けやすくなります。
- ・ 新規栽培者の確保につなげることができます。
- ・ 1戸当たりの経営規模を拡大できます。